

哲学委員会分科会の設置について

分科会等名：いのちと心を考える分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	哲学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	Covid19 禍は、生命科学・遺伝子操作技術が次々と新たな成果をもたらし、経済と情報のグローバル化が進む現代社会の趨勢の再考を促し、改めて死の問題や何らかの超越的・垂直的次元に向き合う機会を生み出しているように思われる。このような変化のなかで、「いのち」と「心」はこれまでになく真剣に考察されるべきものになっている。いのちの意義とは何か、心の豊かさとは何かということ明らかにしていくことは、哲学系の人文諸学の重要な課題である。Covid19 禍の経験を踏まえさまざまな角度から、いのちと心を捉え直すことが、この分科会設置の目的である。本分科会は、長期にわたる継続的な活動を必要とするため常設とする。
4	審議事項	① Covid19 禍を踏まえ医療資源の配分や葬送儀礼や看取りにおける生命倫理について検討する。 ② 社会生活の多様な場面での Covid19 禍による変容の下での心のあり方について審議し、シンポジウムを企画する。 ③ 2020年8月4日に公表したゲノム編集の生殖応用に関する提言を元に研究を推進し、シンポジウムやサイエンスカフェを実施する。
5	設置期間	令和2年10月29日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上の継続